

駐在員のアルコール消費実態調査

中国の日本人駐在員 赴任後、酒量が3倍増加！！

2011.12.15

株式会社 MD.ネット

<http://www.md-net.co.jp>

+ 調査概要

1. 調査の目的	海外赴任者の医療管理を行っている上で、特に飲酒に関連した疾患は多い。今回は、海外赴任者における飲酒状況を把握するためのパイロット調査と位置づけ、対象を企業進出が盛んな中国に絞り、調査を実施した。調査結果は、今後の本調査実施の参考とするとともに、会社ならびに本人の健康管理の参考情報として役立てたい。
2. 調査の方法	質問紙法（インターネット、対面）
3. 調査対象者の属性	562名 (1) 北京／上海 346名 (2) 北京／上海以外 216名 (3) 帯同家族と赴任 18.1%
4. 調査期間	平成23年7月1日から11月30日にかけて

+ 調査項目

1. 1週間の飲酒量を日本にいた時と比べるとどの程度増減しましたか。
あなたの状況に最も近い項目を一つだけ選んでください。
(1) 3倍以上 (2) 3倍程度 (3) 2倍程度 (4) 変わらない (5) 減った
2. 1週間の中でお酒を飲まない日が作れていますか？あなたの状況に最も近い項目を一つだけ選んでください。
(1) 休肝日が作れていない (2) 週1回は作れている (3) 週2回は作れている (4) 意識していない
3. お酒として主に何を飲みますか？3つまで自由に記述してください。
4. お酒は主にどちらで飲む事のほうが多いですか。(1) 自宅 (2) 自宅外
5. お酒を飲む理由はどのようなことでしょうか。あなたの心情にもっとも近い項目を2つまで選んでください。
(1) 取引先との接待があるから (2) 各種の会合がありお酒が入るから
(3) 本社の出張者の対応で当然お酒という流れになる (4) 仕事が終わって同僚と飲むから
(5) 夜お酒を飲む事が習慣になっている (6) お酒を飲むとストレス解消になる
(7) お酒を飲むことくらいしか余暇がないから (8) お酒が美味しいから (9) その他
6. 次の項目で、最近あなたが気になる状態を2つまで選択してください。
(1) 精神的にイライラするようになった (2) 動悸や息切れがするようになった (3) 胃がきりきり痛い
(4) 疲れやすくなった (5) ぐっすり眠れない、途中で目が覚める (6) 太った
(7) 定期健康診断の数値が悪化した (8) その他

+ 調査結果要約

- 駐在員に対し、赴任後、日本にいた時と比べて1週間当たりの飲酒量がどう変化したかについて聞いたところ、「3倍程増えた」と答えた割合が46.6%と最も多かった。
- 全体として駐在員の88.8%に酒量の増加が見られた。
- 休肝日がとれているかを聞くと48.4%がとれていないと答えている。
- 飲むお酒の種類としてはビールが最も多く82.9%、次いで中国酒41.6%だった。中国酒は「北京、上海以外」の地域でより多く飲まれている。
- 飲酒場所としては自宅外が多いが、帯同家族と赴任している割合が他地域よりも多い「北京、上海」の駐在員は自宅と答えた人が31.0%いた。
- 酒をの飲む理由を総括すると「仕事を終えたら同僚とそのままお酒へ」といった習慣的な理由によるものが目立った。

+ 1週間当たりの飲酒量の変化

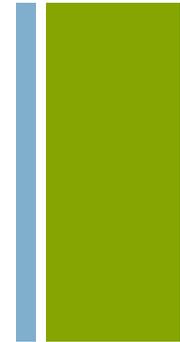
- 飲酒量が3倍増えたと答えた人が46.6%と最も多かった。

	3倍以上増えた	3倍程度増えた	2倍程度増えた	変わらない	減った
北京／上海	10.1	45.7	32.1	9.0	3.2
北京／上海 以外の中国	5.1	48.1	33.3	6.5	6.9
全体	8.2	46.6	32.6	8.0	4.6

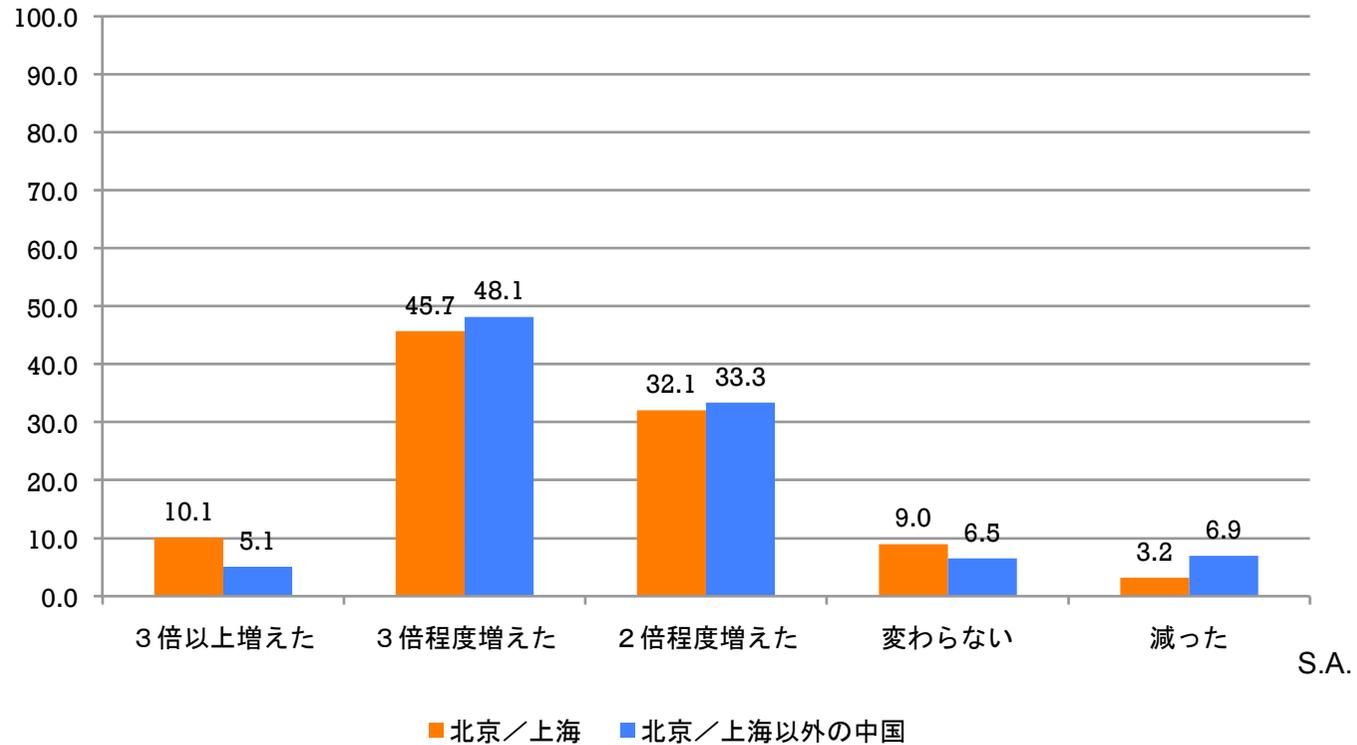
S.A.



- 北京、上海は3倍以上増えた人がそれ以外の地域より多かった。
- 北京、上海以外の地域は減った人が、同地域より多かった。飲む場所が少ないという理由によるものだった。

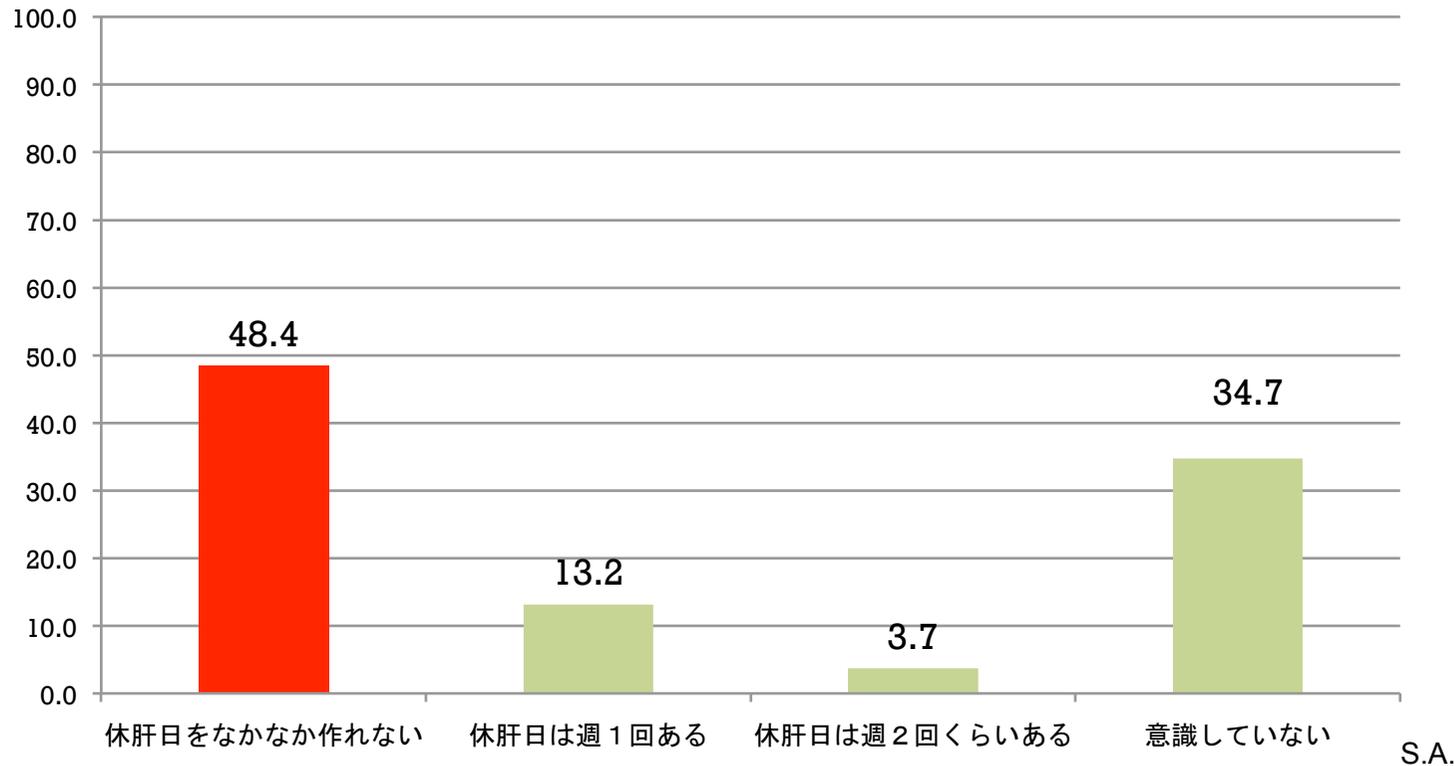


1週間の飲酒量は赴任後増えましたか？



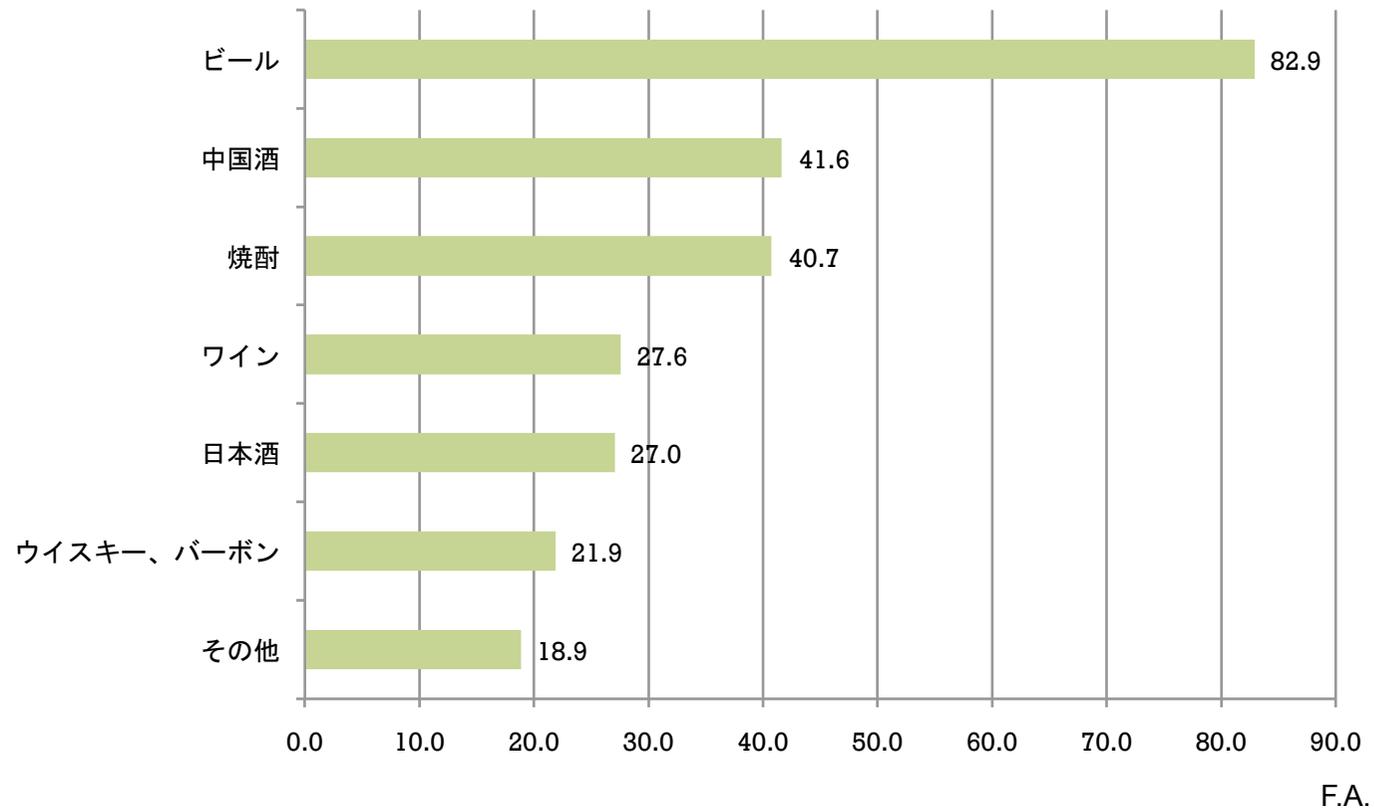
+ 1週間の休肝日の状況

休肝日についてあなたの状況に近いものを選んでください



+ 飲酒の種類(中国赴任者全体)

- 飲んでいるお酒の種類はビールが最も多く、次が中国酒だった。
- 駐在員は平均して2.6種類のお酒を飲んでいるようだ。



+ 飲酒の種類(比較)

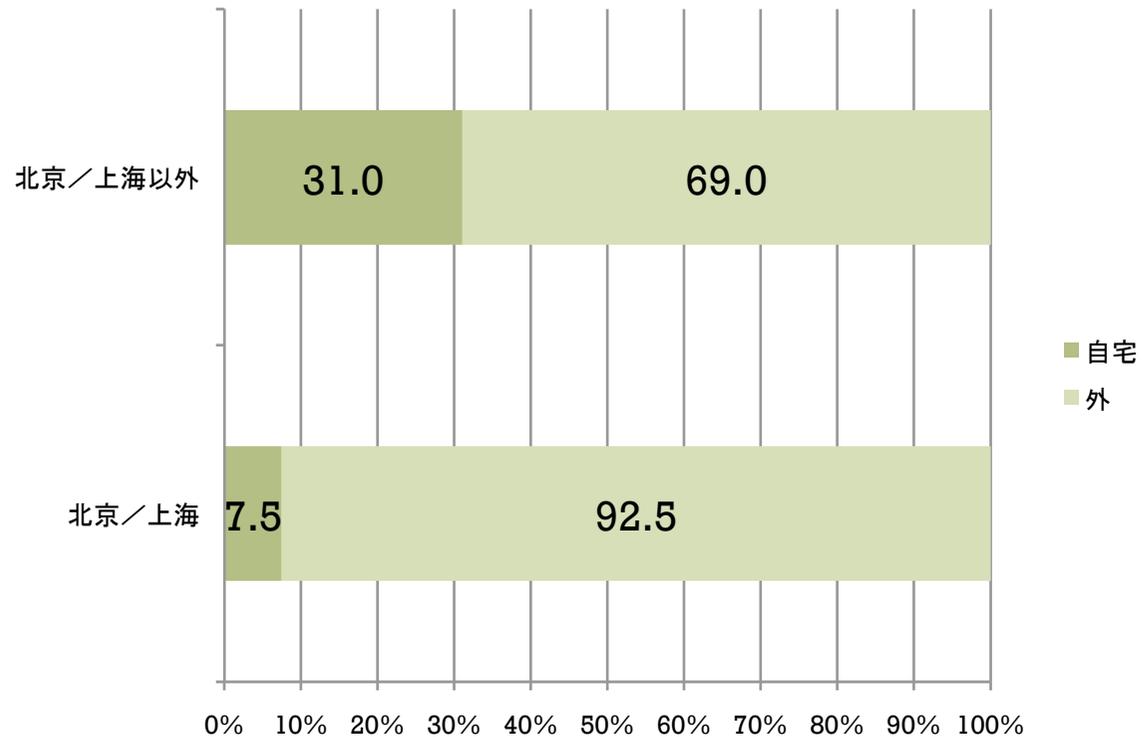
- 地域で比較すると、北京、上海以外は中国酒が多いようだ。

	北京／上海	北京／上海以外
日本酒	27.2	26.9
焼酎	39.9	42.1
ビール	82.9	85.6
ワイン	29.5	24.5
ウイスキー、バーボン	25.7	15.7
中国酒	31.2	58.3
その他	21.4	14.8

M.A.

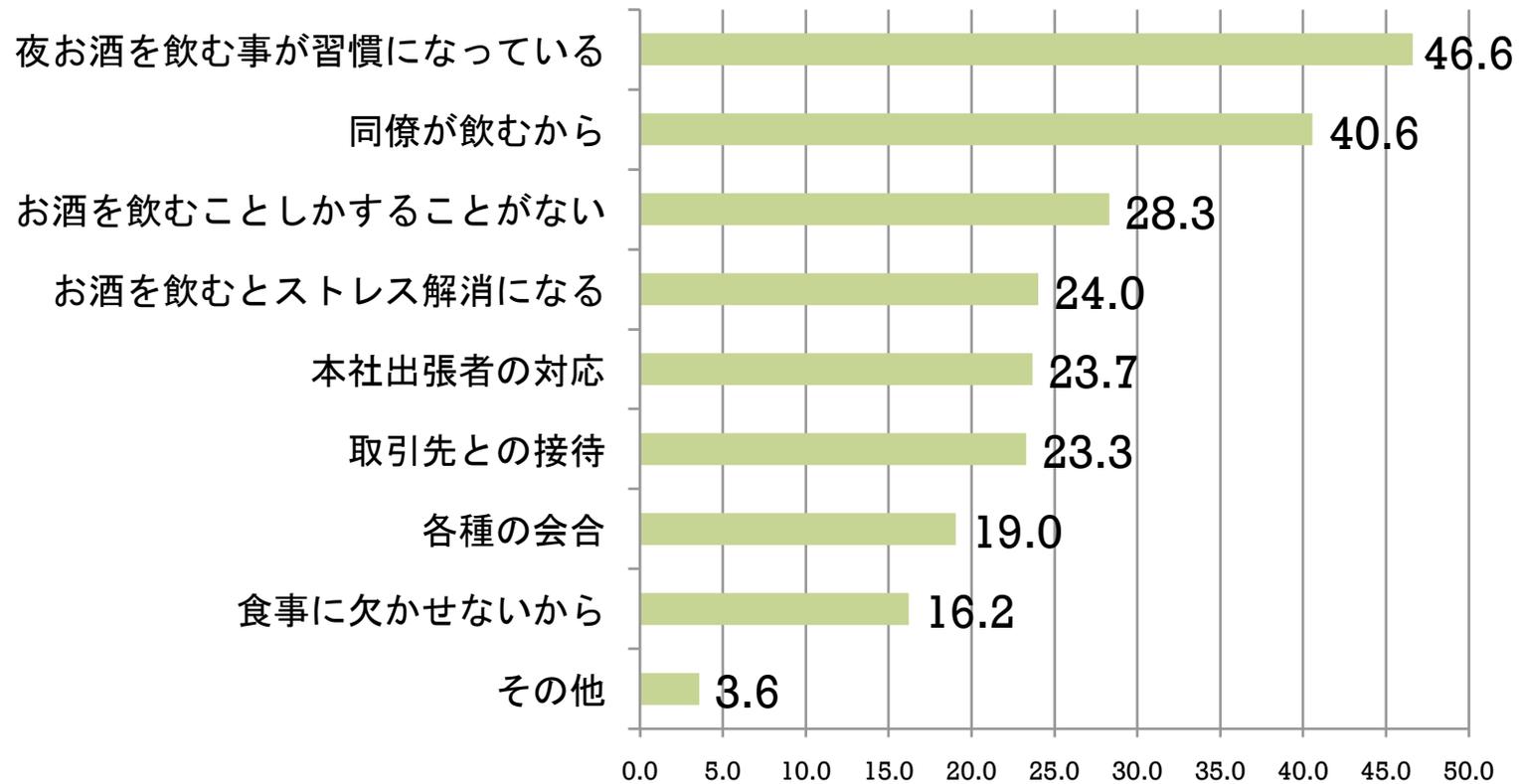
+ 飲酒場所

- 飲酒場所は北京、上海は自宅外が92.5%と圧倒的に多かった。
- 北京、上海以外は自宅で飲む方が多いという回答が3割あった。



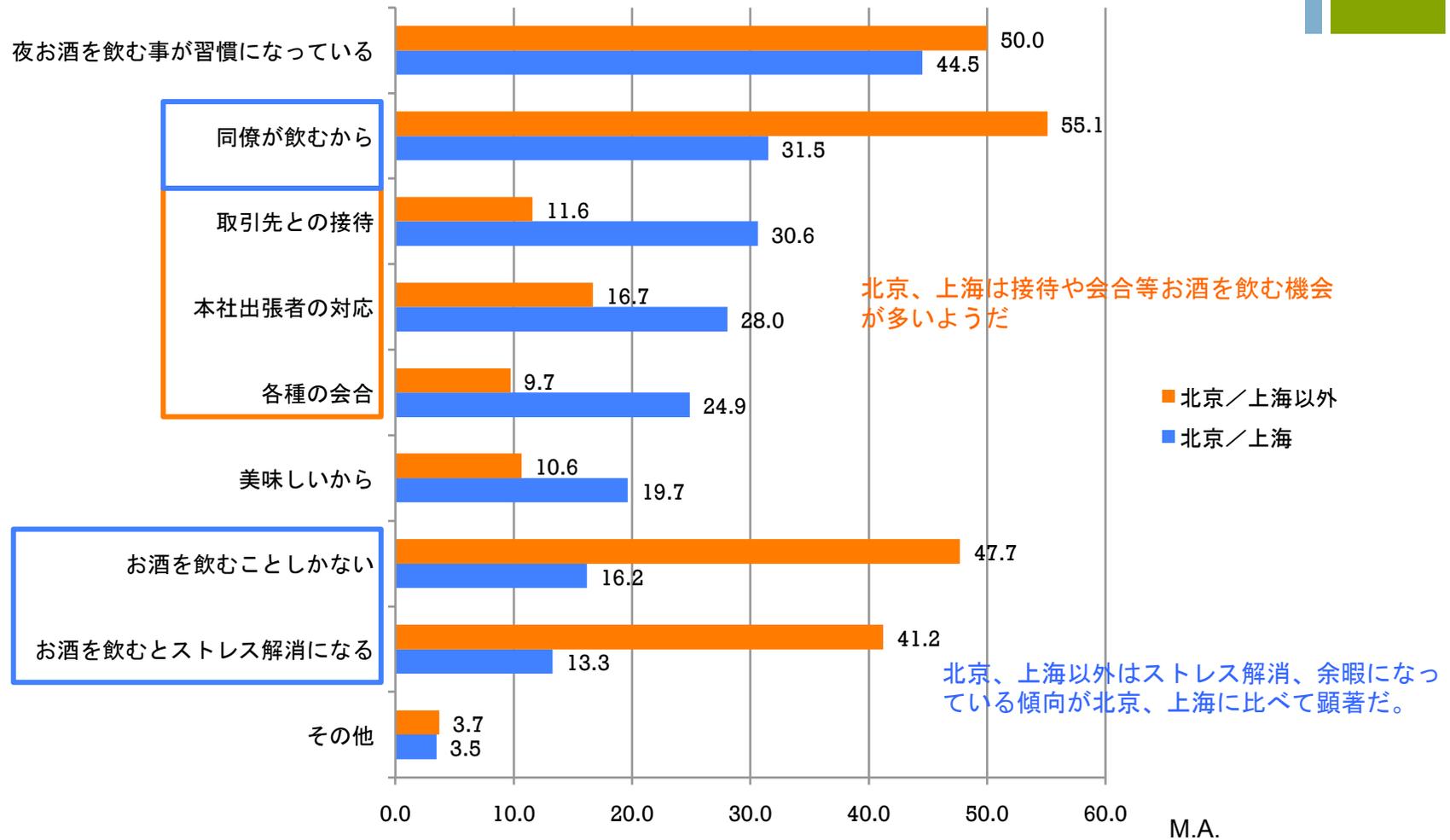
S.A.

+ 飲酒の理由(中国赴任者全体)



M.A.

+ 飲酒の理由(北京・上海赴任者以外)

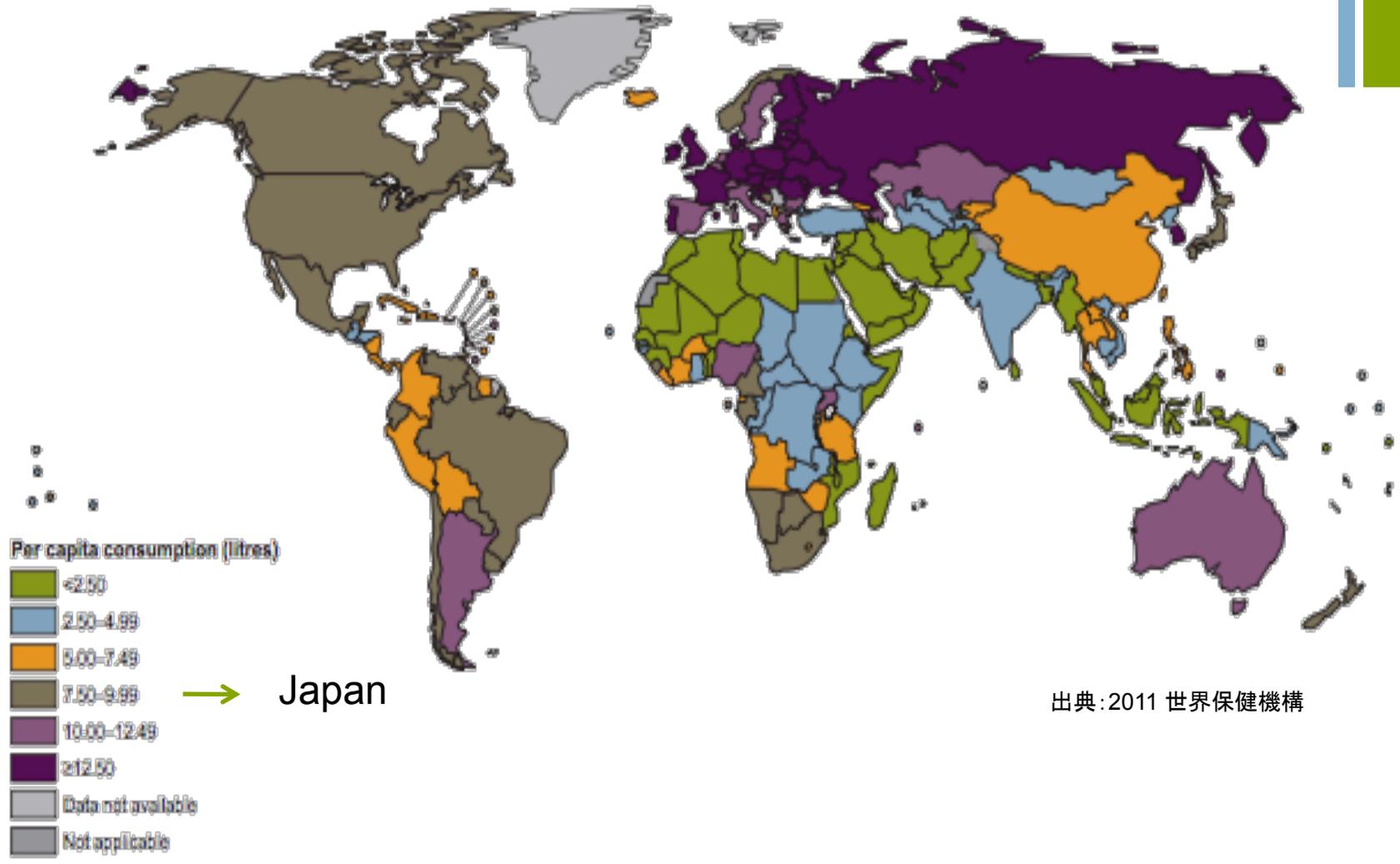


+ 参考：他地域との比較

	3倍以上増えた	3倍程度増えた	2倍程度増えた	変わらない	減った
中国／上海・北京	10.1	45.7	32.1	9.0	3.2
中国	5.1	48.1	33.3	6.5	6.9
東南アジア	2.5	25.4	31.1	25.4	15.6
ヨーロッパ (英仏独)	1.1	16.5	15.6	31.4	35.4
東アジア	0.7	27.6	32	22	17.7

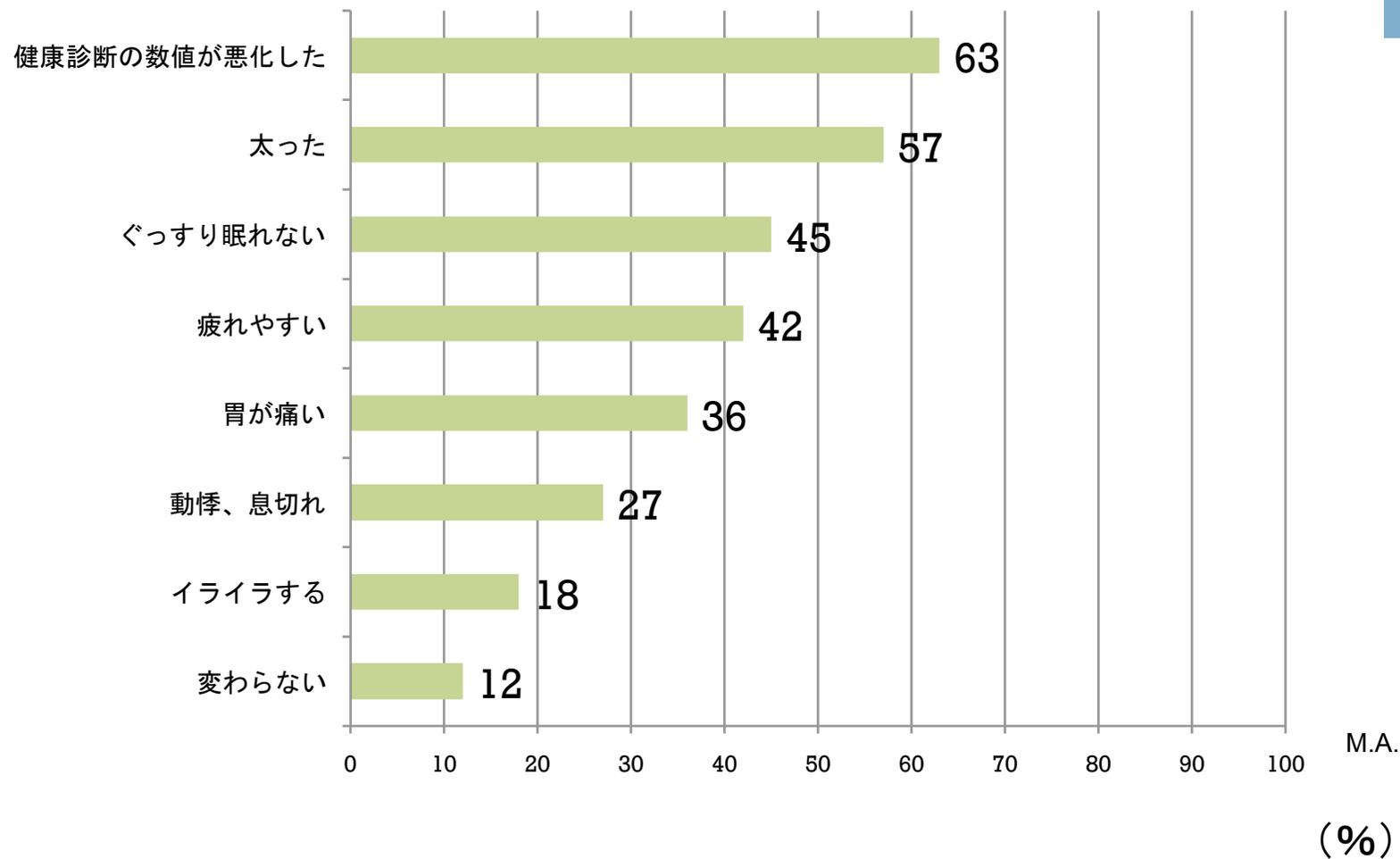
* 東南アジア 87人、ヨーロッパ47人、東アジア32人とサンプルが少ないので、今後地域、サンプルも拡大して展開します。

+ 参考：世界の飲酒量（1人あたりの年間消費量）



出典：2011 世界保健機構

+ 体調で気になることは？



+ 調査からの提言

- 中国への赴任によって駐在員の飲酒量は間違いなく増えている。駐在員によれば、飲酒量が必然的に増えてしまう環境にあるという。
- 企業にとっては突然死等のリスクマネジメントの観点から、赴任前の飲酒教育等の研修実施、本人への継続的な注意喚起等、フォローアップの方法を再考していくことが必要だろう。
- “酒は百薬の長”という言葉もあるように、適量を守れば身体にも精神にも良い効果をもたらす。
- 本調査結果で、健康的なお酒との付き合い方を今一度呼びかけたい。

株式会社 MD.ネット 代表取締役社長 医学博士 佐野秀典